

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成 18 年 1 月 19 日 (2006.1.19)

【公表番号】特表 2005-509981 (P2005-509981A)

【公表日】平成 17 年 4 月 14 日 (2005.4.14)

【年通号数】公開・登録公報 2005-015

【出願番号】特願 2003-546284 (P2003-546284)

【国際特許分類】

G 0 6 K 17/00 (2006.01)

G 0 6 F 3/08 (2006.01)

G 0 6 F 21/20 (2006.01)

G 0 6 K 19/07 (2006.01)

G 0 6 K 19/10 (2006.01)

H 0 4 L 9/32 (2006.01)

【F I】

G 0 6 K 17/00 S

G 0 6 K 17/00 B

G 0 6 K 17/00 V

G 0 6 F 3/08 A

G 0 6 F 15/00 3 3 0 G

G 0 6 K 19/00 J

G 0 6 K 19/00 R

H 0 4 L 9/00 6 7 3 E

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 11 月 18 日 (2005.11.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

少なくとも 1 つのトランザクションカードに関するアカウント情報を記憶するように構成されたメモリと、

前記メモリに記憶されたトランザクションカードに対応する可読の識別子を生成するように構成された出力回路と、

前記メモリに記憶されたトランザクションカードを選択するように構成されたユーザ入力装置と、

前記メモリ、出力回路、およびユーザ入力装置に動作的に結合されたプロセッサとを備え、

前記出力回路は、前記ユーザ入力装置から受け取られた入力に応答して可読の識別子を生成する

ことを特徴とするトランザクションカードシステム。

【請求項 2】

前記プロセッサに動作的に結合されたセキュリティ入力装置をさらに備え、前記セキュリティ入力装置は、前記セキュリティ入力装置によって受け取られた入力に基づいて、前記メモリに記憶されたアカウント情報へのアクセスを制限する

ことを特徴とする請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 3】

前記セキュリティ入力装置は認証センサであることを特徴とする請求項 2 に記載のシステム。

【請求項 4】

前記認証センサは生体認証センサであることを特徴とする請求項 3 に記載のシステム。

【請求項 5】

第 1 のユーザは、前記認証センサによって受け取られる入力に基づいて、前記メモリに記憶された第 1 のアカウント情報のセットへのアクセス権を有し、第 2 のユーザは、前記認証センサによって受け取られる入力に基づいて、第 2 のアカウント情報のセットへのアクセス権を有する
ことを特徴とする請求項 3 に記載のシステム。

【請求項 6】

前記認証センサは指紋センサであることを特徴とする請求項 5 に記載のシステム。

【請求項 7】

前記出力回路によって生成される前記可読の識別子は磁気信号であることを特徴とする請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 8】

前記出力回路によって生成される前記可読の識別子はバーコードであることを特徴とする請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 9】

前記可読の識別子はセキュリティコードを含むことを特徴とする請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 10】

前記セキュリティコードはランザクションごとに異なることを特徴とする請求項 9 に記載のシステム。

【請求項 11】

前記セキュリティコードはランザクションごとに連続的に変わることを特徴とする請求項 9 に記載のシステム。

【請求項 12】

前記セキュリティコードは、暗号化アルゴリズムに基づくことを特徴とする請求項 9 に記載のシステム。

【請求項 13】

前記プロセッサに動作的に結合されたステータス表示をさらに備え、前記ステータス表示は、使用不可の状態と使用可能な状態とで切り替わるように構成され、前記ステータス表示は、前記出力回路が可読の識別子を生成すると使用可能になる
ことを特徴とする請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 14】

前記ステータス表示は、カードリーダーによって読み取られると使用不可になることを特徴とする請求項 13 に記載のシステム。

【請求項 15】

前記ステータス表示は、前記出力回路が可読の識別子を生成した後に所定の時間が経過すると使用不可になる
ことを特徴とする請求項 13 に記載のシステム。

【請求項 16】

前記ステータス表示は、前記ステータス表示が使用可能な時に点灯する照明であることを特徴とする請求項 13 に記載のシステム。

【請求項 17】

前記ステータス表示は、前記ステータス表示が使用可能である時には第 1 の色を点灯し

、前記ステータス表示が使用不可である時には第２の色を点灯する照明であることを特徴とする請求項１３に記載のシステム。

【請求項１８】

前記ステータス表示は、前記ステータス表示が使用可能である時には第１の可聴音を提供し、前記ステータス表示が使用不可の時には第２の可聴音を提供することを特徴とする請求項１３に記載のシステム。

【請求項１９】

アカウント情報をダウンロードする、前記プロセッサに動作的に結合されたインタフェースをさらに備えたことを特徴とする請求項１に記載のシステム。

【請求項２０】

前記プロセッサに動作的に結合されたディスプレイをさらに備え、前記ディスプレイは、前記ユーザ入力装置に応答して、前記メモリに記憶されたアカウント情報を表示することを特徴とする請求項１に記載のシステム。

【請求項２１】

ドローンメモリ、ドローンインタフェース、および前記ドローンメモリに記憶されたアカウント情報に対応する可読の識別子を生成するように構成された出力回路を有するドローンカードと、

前記ドローンカードを収納するスロットを有するホストであって、

少なくとも１つのトランザクションカードについてのアカウント情報を記憶するように構成されたホストメモリと、

前記ドローンインタフェースと通信して前記ドローンカードにアカウント情報を転送するように構成されたホストインタフェースと、

生体認証センサと、

前記ホストメモリ、前記ホストインタフェース、および前記生体認証センサに動作的に接続されたプロセッサと

を有するホストとを備え、

前記ホストは、前記生体認証センサを介してユーザが確認されると前記ドローンメモリにアカウント情報を転送する

ことを特徴とするトランザクションカードシステム。

【請求項２２】

前記生体認証センサは指紋センサである

ことを特徴とする請求項２１に記載のシステム。

【請求項２３】

第１のユーザは、前記生体認証センサによって受け取られる入力に基づいて、前記メモリに記憶された第１のアカウント情報のセットへのアクセス権を有し、第２のユーザは、前記生体認証センサによって受け取られる入力に基づいて、第２のアカウント情報のセットへのアクセス権を有する

ことを特徴とする請求項２１に記載のシステム。

【請求項２４】

前記ドローンカードの前記出力回路によって生成される前記可読の識別子は磁気信号である

ことを特徴とする請求項２１に記載のシステム。

【請求項２５】

前記ドローンカードの前記出力回路によって生成される前記可読の識別子はバーコードである

ことを特徴とする請求項２１に記載のシステム。

【請求項２６】

前記ドローンカードによって生成される前記可読の識別子はセキュリティコードを含むことを特徴とする請求項２１に記載のシステム。

【請求項 27】

前記セキュリティコードはトランザクションごとに異なることを特徴とする請求項 26 に記載のシステム。

【請求項 28】

前記セキュリティコードはトランザクションごとに連続的に変わることを特徴とする請求項 26 に記載のシステム。

【請求項 29】

前記セキュリティコードは、暗号化アルゴリズムに基づくことを特徴とする請求項 26 に記載のシステム。

【請求項 30】

前記ドローンカードはさらにステータス表示を備え、前記ステータス表示は、使用不可の状態と使用可能な状態とを切り替わるように構成され、前記ステータス表示は、前記ドローンカードの前記出力回路が可読の識別子を生成すると使用可能になることを特徴とする請求項 21 に記載のシステム。

【請求項 31】

前記ステータス表示は、出力回路が可読の識別子を生成した後に所定の時間が経過すると使用不可になることを特徴とする請求項 30 に記載のシステム。

【請求項 32】

前記ステータス表示は、前記ステータス表示が使用可能な時に点灯する照明であることを特徴とする請求項 30 に記載のシステム。

【請求項 33】

前記ドローンインタフェースと前記ホストインタフェースは電気接点を使用して通信することを特徴とする請求項 21 に記載のシステム。

【請求項 34】

前記ドローンインタフェースと前記ホストインタフェースはワイヤレス通信を使用して通信することを特徴とする請求項 21 に記載のシステム。

【請求項 35】

前記ドローンインタフェースと前記ホストインタフェースはレーザ通信を使用して通信することを特徴とする請求項 21 に記載のシステム。

【請求項 36】

前記ドローンインタフェースと前記ホストインタフェースは赤外線通信を使用して通信することを特徴とする請求項 21 に記載のシステム。

【請求項 37】

前記ドローンカードはさらにディスプレイを備え、前記ディスプレイは、前記ホストの前記生体認証センサから受け取る生体情報に基づいて前記ユーザの写真を表示することを特徴とする請求項 21 に記載のシステム。

【請求項 38】

前記ホストは、電源として太陽電池を含むことを特徴とする請求項 21 に記載のシステム。

【請求項 39】

前記太陽電池に動作的に接続された光増幅器をさらに備えたことを特徴とする請求項 38 に記載のシステム。

【請求項 40】

前記光増幅器は、前記太陽電池を覆う少なくとも 1 つのプリズムであることを特徴とする請求項 39 に記載のシステム。

【請求項 4 1】

前記ホストは、前記ホストが損傷した場合に前記ホストメモリを消去する改ざん防止手段を含む

ことを特徴とする請求項 2 1 に記載のシステム。

【請求項 4 2】

前記ドローンカードは、前記ドローンカードが損傷した場合に前記ドローンメモリを消去する改ざん防止手段を含む

ことを特徴とする請求項 2 1 に記載のシステム。

【請求項 4 3】

前記ドローンカードは、標準的なクレジットカードとほぼ同じ厚みを有する

ことを特徴とする請求項 2 1 に記載のシステム。

【請求項 4 4】

前記ホストは、標準的なクレジットカードの約 3 倍の厚みを有する

ことを特徴とする請求項 4 3 に記載のシステム。

【請求項 4 5】

前記ホストと通信して前記ホストメモリにアカウント情報を記憶するインタフェースを有する登録装置

をさらに備えたことを特徴とする請求項 2 1 に記載のシステム。

【請求項 4 6】

前記登録装置は、前記ホストのスロットに収納されるように構成されたカード様部分を有する

ことを特徴とする請求項 4 5 に記載のシステム。

【請求項 4 7】

前記ホストは、前記ホストの使用を妨げる使用不可の状態と、前記ホストの使用が可能な使用可能状態とを切り替わるように構成され、前記システムはさらに、ユーザ入力装置を備える登録装置を備え、前記ホストは、前記登録装置の前記ユーザ入力装置から受け取る入力に応答して前記使用可能な状態に切り替わる

ことを特徴とする請求項 4 6 に記載のシステム。

【請求項 4 8】

前記ホストメモリに記憶されたトランザクションカードのアカウント情報を選択するように構成されたユーザ入力装置

をさらに備えたことを特徴とする請求項 2 1 に記載のシステム。

【請求項 4 9】

ドローンメモリ、ドローンインタフェース、および前記ドローンメモリに記憶されたアカウント情報に対応する可読の識別子を生成する手段を有するドローンカードと、

少なくとも 1 つのトランザクションカードに対応するアカウント情報を記憶する手段と、

生体データに基づいて前記アカウント情報へのアクセスを制限する手段と、

ユーザによって選択されたトランザクションカードのアカウント情報を前記ドローンメモリに転送する、前記ドローンインタフェースに動作的に接続された手段と

を備えたことを特徴とするトランザクションカードシステム。